

議事録

委員会名	地域連携手帳委員会
日時	平成26年4月17日(木) 13時30分から14時10分
議長	豊島院長
出席者	18名

議題1.	連携手帳の現状と問題点 ・医療機関側が積極的に利用しなければならない。例えば血圧の薬を変更した際などに手帳に記載をすると患者の状態を把握し易い。 ・患者側に手帳を出すという習慣が身に付いていない。 ・下越病院では退院前カンファレンスにて手帳を利用。退院後にも有益。
議題2.	連携手帳の発展的利用 ・生活記録1の体重の欄では、患者の体重を毎月拾う事が大変。そこで体重だけの一覧を作成し、手帳に綴じている。補食を出す指標になつたり、訪問診療の際に役立つたりする。 ・意見が分かれる所かもしれないが、体重にそんなに拘泥する必要があるのか疑問符が生じる。二度手間ではないのか。
議題3.	新潟市認知症連携手帳:「むすびあい手帳」の現状 ・秋葉区の地域連携手帳の内容を汲んだ手帳となっている。10月には全区にてこちらを運用し、連携手帳がなくなり次第シフトしていくと聞いた事がある。 ・新潟市にはしっかりと予算組みで、下支えしてもらいたい。
議題4.	医療介護の連絡網 ・医師会の連絡網の作成はまだだが、FAXを中心とした繋がりは完成している。次回6月の開催には連絡網を完成させたい。
議題5.	秋葉区医療福祉フェアの開催報告 ・手帳委員会からも出席された方々に御礼申し上げる。住民アンケートの結果、好評であった。実行委員会でこのフェアを続ける方向に決定した。
議題6.	第12回新津地域医療福祉連携協議会:平成26年11月14日(金) ・認知症と地域連携をテーマとして、基調講演やグループワークを行う。出来るだけ多くの方々に参加をして頂きたい。グループワークは多職種が顔を合わすので、距離が近くなる意味合いが大きい。忌憚のない意見を述べてもらう絶好のチャンスである。
議題7.	その他 ・医師会から手帳増刷予算を頂いた。1,000部の作成を目指す。むすびあい手帳についても情報を収集していきたい。行政の運営と手帳利用の広がりには温度差があるので、その差をどう埋めていくか動向を見守る。

次回手帳委員会:平成26年6月19日(木)午後1時30分から
新津医療センター病院 西3階 大会議室